

かほく市立高松中学校 3年生【国内機関長賞】受賞！

27日(木)16時00分にかほく市立高松中学校にて賞状授与

国際協力機構(JICA)では、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的とした「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を毎年実施しています。

本コンテストは、今年度で中学生の部は24回、高校生の部は58回を数え、中学生の部27,320点、高校生の部28,141点、総数55,461点ものご応募をいただきました。

2019年度の本エッセイコンテストの審査結果が昨年末発表となり、かほく市立高松中学校3年生の一花 楓志さんが県内の中学生で唯一入賞、【国内機関長賞】を受賞されました。

■受賞作品の一部ご紹介

【国内機関長賞】「一人一人があきらめないこと」石川県 かほく市立高松中学校 一花 楓志
 どうしたら世界中の人が「あ～お腹いっぱい！」と感じられるようになるのか。学校のイベントでSDGsを知り、世界でも色々な国が課題解決に向けて取り組んでいるのだから、自分一人では小さな行動でも続けていくことが大切であると綴った作品。

27日(木)16時にJICA北陸の菊地和彦所長がかほく市立高松中学校を訪問し、受賞に賞状と副賞の民芸品等を授与します。

本コンテストは来年度も実施を予定しており、石川県内の多くの中学生、高校生からの参加を期待しております。

この機会に富山県内の多くの方々に一花 楓志さんの受賞について認知いただきたく、27日当日の貴メディアによる取材・報道につきまして、よろしくお願い致します。

【本件に関する問い合わせ先】

●エッセイコンテストについて (独)国際協力機構北陸センター(JICA北陸) 甲斐 TEL 076-233-5931 E-mail: Kai.Shoko@jica.go.jp	●当日の取材について かほく市立高松中学校 2020年2月27日(木)16時より
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------